

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	近江八幡市役所		代表者名	小西 理	
担当者部署	総務部		連絡先電話番号	0748-36-5554	
担当者役職	主任主事	担当者氏名	小関 研洋	連絡先E-mail	
住所	523-8501 滋賀県近江八幡市桜宮町236番地				

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	安江 輝				
評価	大変よい				
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	society5.0時代に係る情報として、おぼろげであった地域の情報化、まちづくりへのICT活用方法、これらの先進的な事例や予算の考え方など、大変具体的に示していただけのため。				
アドバイザーへの要望事項	当日もよろしくお願いたします。				

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年1月26日	13時30分	14時30分		60
3-2. 派遣場所	会場名	Zoom等によるweb会議		最寄駅	-
	所在地	-		最寄駅からの交通手段	-
	派遣形態	事前打合せ（オンライン）			

4. 報告書についてのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市役所職員	2 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	society5.0時代の内容や考え方等は一定理解が進んでいるが、実際の自治体業務や政策等にどのように反映すればよいか、具体的な事例を知らないため、考え方や進め方について検討まで至っていない。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	ICT技術等を活用した事例として、全般的な内容でなく専門的かつ具体的な先進事例の紹介をいただき、実際に業務に携わる職員が自身の業務やこれからの時代に即した対応を検討する機会を設け、未来志向を持つ職員を育てることを成果とする。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	長野県伊那市役所の具体的な取組の紹介を通じ、自治体ごとのカラーの中でどのようにICT化に向けて進めていくかの道筋を示していただくことができた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	これまで不明確だった具体的な取組内容を詳細に、かつ自治体職員の視点で紹介いただいたことで内容を見塚に感じることができ、当日の講演でも多くの職員に自信の業務に落とし込むことができると感じられた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは講演後に実施予定。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		